

僕たちの未来の選択

この先の20年も平和に暮らせる
国防を考えよう!

こんな人待ってます

自分が生きている間に
日本は戦争するのかな
そのとき自分の暮らしは
どうなるのかなと心配
している若い人



兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001



講演① 戦争になったときの命と暮らし
(法律・条約の定め)

永井 幸寿 弁護士

講演② 国家・自衛隊・国民にとって、
有事(戦争)とは何か?

柳澤 協二 氏

グループディスカッション

2024
12/21 土

13:30~16:00 開場 13:00

会場 / 兵庫県弁護士会館

神戸市中央区橋通1-4-3

JR「神戸」駅、阪急阪神「高速神戸」駅、
市営地下鉄「大倉山」駅等から徒歩8分

参加費無料

定員50名

託児利用可

講師



柳澤 協二 氏
(元内閣官房副長官補)



永井 幸寿 弁護士
(兵庫県弁護士会所属)

国際社会で
責任を果たすためには
日本も戦争しないと
いけないんじゃないか?
でもそれってどういうことなん
だろうとモヤモヤして
いる若い人

こんな人待ってます

最近、日本を取り巻く安全保障環境の緊張が高まっていると言われます。いままで、私たちは、「日本は戦争しない国」と思ってきましたが、最近は、「台湾有事は日本有事」などと言われて、戦争がだんだん身近に迫ってくるようにも思えます。戦争では、ウクライナやパレスチナ(ガザ地区)のように民間人が容赦なく殺されています。日本でも実際に戦争が始まったら、私たちの命や暮らしはどうなってしまうのでしょうか。それを避けることはできるのでしょうか。

本企画では、2003年にイラク自衛隊派遣の指揮を執った柳澤協二さんと、有事の法律制度の専門家である永井幸寿さんのお話を聞いて、この先の20年も日本が平和であるために私たち市民がどうすべきかについて考えます。ただ、講演を聴くだけでなく、テーブル討論も行います。日頃のモヤモヤをお喋りしてみませんか？



プログラム(案)

ブレイクディスカッション

- ▶ 講演1 戦争になったときの命と暮らし
(法律・条約の定め)
永井 幸寿 弁護士
- ▶ 講演2 国家・自衛隊・国民にとって、
有事(戦争)とは何か？
柳澤 協二 氏

グループディスカッション

質問と共有

講師から・まとめのお話

講師プロフィール

柳澤 協二氏(元内閣官房副長官補)

- 1946年 東京都生まれ。東京大学法学部卒業。
- 1970年 防衛庁に入庁。防衛庁運用局長、防衛庁人事教育局長、官房長、防衛研究所所長、内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)などを歴任
- 2003年 自衛隊イラク派遣時には、小泉内閣(当時)で自衛隊派遣の陣頭指揮を取った。
- 2009年 退官
- 2011年 NPO法人国際地政学研究所理事長
新外交イニシアティブ理事
自衛隊を活かす:21世紀の憲法と防衛を考える会代表

永井 幸寿弁護士(兵庫県弁護士会所属)

- 1955年 東京都生まれ 早稲田大学法学部卒業
- 2007年 日弁連災害復興支援委員会委員長
- 2011年 日弁連東日本大震災対策本部副本部長
- 現在 日弁連災害復興支援委員会・緊急時法制PT座長

意見交換のルール

- ①どなたのどのような意見も否定されません。
政治的議題には、唯一絶対の正解はありません。あるのは、立場による選択の違いです。
- ②自分と違う意見にこそ、心を開いて耳を傾けます。
- ③発言者に拍手を送ります。発言には勇気と決断が必要です。「発言して頂いてありがとうございます」
- ④質問は、意見の優劣を決するためではなく、相手を深く知るためになされます。

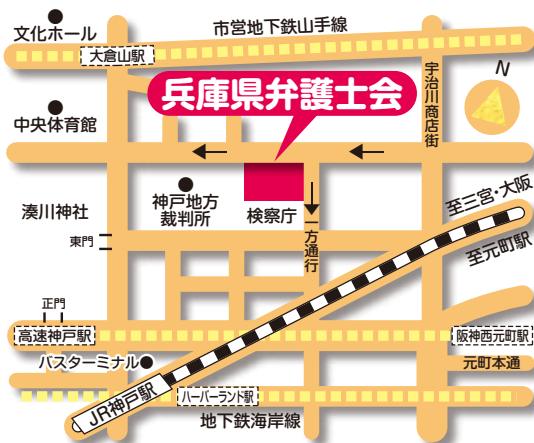
日時 2024年12月21日(土)
13:30~16:00(開場13:00)

会場

兵庫県弁護士会館

神戸市中央区橘通1-4-3

JR「神戸」駅、阪急阪神「高速神戸」駅、市営地下鉄「大倉山」駅等から徒歩8分 ※ご来場は公共交通機関をご利用ください。



定員 50名 参加費 無料

申込方法

兵庫県弁護士会ホームページに掲載の申込フォームまたは二次元バーコードよりお申込ください。
※兵庫県弁護士会ホームページ
<https://www.hyogoben.or.jp/>



申込締切 2024年12月17日(火)
託児利用 2024年12月6日(金)